

○ 調査問題

4

次の文の——線部と同じ意味の使い方のものを、あとの1～4の中からそれぞれ一つ選びなさい。

(1) 新幹線で京都に行く。

1 弟に本を読ませる。

2 やつとの思いで山頂にたどり着く。

3 あまりの暑さにまいってしまった。

4 工場へ見学に行く。

○ 調査問題の趣旨・内容

「いろいろな働きを持つ言葉の中で同じ働きで使われている言葉を選択する」問題

【問題内容】 助詞「に」を識別する。

【作成の趣旨】 言葉の働きについて正しく理解する力が身に付いているかを見る問題である。文中において助詞「に」がどのような働きをしているかを適切に判断するとともに、何を表す働きをしているのかを文を読んで理解する力が求められる。

○ 誤答分析

解答類型 出題のねらい	1	②正答	3	4	無解答	その他
助詞「に」を識別する。	1.6%	18.7%	1.7%	77.8%	0.1%	0.1%

- 正答は18.7%と低く、「場所」を表す意味の使い方をしていない正答を見つけることができていない。
- 77.8%の生徒が誤答である4の「見学に」を選択している。助詞「に」の後に続く言葉が「行く」となっており、問題で示された文と同じ語句であったため、その部分のみに着目してしまったと考えられる。
- 場所を表す「に」と目的を表す「に」の使い方の判断ができていない。
- 助詞「に」を含んだ語の働きの理解を深めるには、様々な文の中において、一つ一つの語句が、どの語句に対してどのように詳しくしているのかを考えることが求められる。
- ①文の中における「修飾・被修飾の関係」についての理解を深めること ②文の意味を変えずに、他の言葉に置き換えてみる（見学に→見学をしに）ことなどから言葉の働きを分類し、判断することができることを理解させていく必要がある。

○ 指導上のポイント

修飾・被修飾の関係、修飾語の理解を深める指導

<学習活動例>

○穴埋め式の文作りの活動（ペア、グループ活動）

「わたしは、に行く。」

①四角の中に当てはめられる言葉を見つけよう。

- わたしは、練習に行く。
- わたしは、放課後に行く。
- ×わたしは、友達に行く。

【日常生活でよく使う言葉】例

学校／家／練習／友達／朝／放課後／駅
 ／図書館／夏休み／自転車／山／コンビニ
 ／埼玉県／見物／宿題／食事／見学／家族

②当てはめられる言葉を、4つの仲間に分けよう。

A だれに B どこに
 友達に、家族に 学校に、山に

C いつに D 何をしに
 朝に、放課後に 見学に、練習に

③「に」のつく言葉には、いろいろな働きがあることを確かめる。 さらに、「～と」や「ようだ（ような）」でも同様の活動を行うことも考えられる。



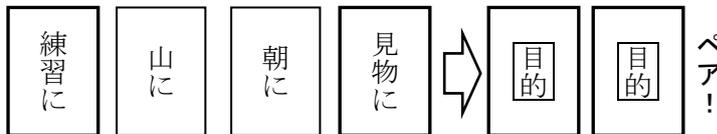
主体的、対話的で
深い学びの視点

○グループで行う「言葉の働きカード」の活動

「わたしは、に行く。」

◎カードの言葉を見て、同じ働きをする言葉のペアを探そう。

<作成カード例>



表：学校に 裏：場所
 表：見学に 裏：目的
 表：友達に 裏：相手
 表：夕方に 裏：時 など

○新出漢字と修飾語等を意識的に使用して文を作る活動

・進出漢字を学習する際には、漢字や熟語のみを繰り返し書き取るだけでなく、短文を作って書く活動を継続的に行う。留意点として、主語・述語とともに、その他の語（場所、時、相手、目的、方法、手段、結果など）を意図的に加えて文を書くよう指導する。継続的な指導を通して、語いを増やすとともに、文を詳しくする言葉についての理解と定着を図る。

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

②明日は雨のようだ。
 ア、彼の泳ぎ方はイルカのようだ。
 イ、今日の給食は、カレーのようだ。
 ウ、山のように宿題が出た。
 エ、兄のような人になりたい。

①学校に行く。
 ア、見物に行く。
 イ、明日にする。
 ウ、友達に電話をする。
 エ、北海道に行く。

①次の一線部と同じ使い方をしているものを、次のア～エの中から一つ選びましょう。

【出典】復習シート
 中学1年生・国語
 レベル6～10
 言語事項①

【活用の場面】
 ・語句に関する知識を
 確認する場面など

○ 調査問題

- 4 独立の関係
- 3 接続の関係
- 2 修飾と被修飾の関係
- 1 主語と述語の関係

昨日 同じ クラスの 山下君と
図書館へ 行った。

3 次の——線部の「昨日」と「行った」の関係として適切なものを、あとの1～4の中から一つ選びなさい。

○ 調査問題の趣旨・内容

「文節同士の関係として適切なものを選択する」問題

【問題内容】 修飾・被修飾の関係を理解する。

【作成の趣旨】 この問題は、修飾と被修飾の関係を正しく理解する力が身に付いているかを見る問題である。この問題では、単語の類別について理解している必要があり、傍線部の文節同士がどの関係で結びついているかを正しく見分ける力が求められる。

○ 誤答分析

解答類型	1	②正答	3	4	5
出題のねらい	主語と述語 の関係	修飾・被修飾 の関係	接続の関係	独立の関係	無解答
修飾・被修飾の関係を 理解する。	32.4%	48.5%	8.4%	10.4%	0.3%

○ 正答は48.5%と最も高いものの、誤答選択肢1の「主語と述語の関係」を選択した生徒も32.5%いる。このことから、離れた場所にある文節同士の関係を正しく見分ける力が身に付いていないのではないかと考える。

○ また、問題文には主語が省略されているが、述語に線が引いてあるため、安易に主語・述語の関係と捉えた生徒も多いのではないかと考える。

○ 文節同士の関係を捉える以前に、それぞれの単語のもつ文法的な役割とともに、それぞれの品詞が文のどのような成分になるか、十分に理解していない生徒が多いのではないかと考えられる。

○ 指導上のポイント

文節同士の関係を見分け、正確に文章を理解させるための指導

○文節同士の関係を説明しよう。

- ①文節同士の関係について、教科書等で確認する。
- ②例文の傍線部分の文節同士の関係について考え、分かりやすく説明する文章を書く。

昨日 同じ クラスの 山下君と 図書館へ 行った。



主体的、対話的で深い学びの視点

- ③4人組などの班になり、例文の傍線部分の文節同士の関係について考えたことを話し合う。



「行った」は文の終わりにあって、「どうする・どんなだ」ということを表す文節だから、述語だと思いました。しかし「行った」のは誰かを探すと、文の中には主語がないことがわかります。だから、「昨日」と「行った」は、主語と述語の関係ではありません。「昨日」という文節は、「行った」のがいつなのかを詳しく説明している文節なので、「昨日」と「行った」は、修飾と被修飾の関係です。

「昨日」と「行った」にはつながり言葉が入っていないので、接続の関係ではありません。また、「昨日」と「行った」は「何(誰)が—どうする」の関係でもないので、主語と述語の関係でもありません。さらに、「昨日」と「行った」の文節は関わりがあるので、独立の関係でもありません。だから、これは修飾と被修飾の関係です。



- ④全体で話し合いの内容を共有した上で、ペアで説明し合うなどして再確認する。

※ 誰の説明が分かりやすいかを吟味させる活動をしてもよい。

※文法の学習以外でも、日々の授業の中で新出語句の学習などの際に、文の成分（主語、述語・修飾語等）を意識させた短文作りを行うなど継続的な指導により定着を図る。

※文法事項（主語・述語・修飾語等）について、英語科での効果的な指導方法を聞き取り国語科の指導に生かすなど、教員同士で交流する「教科間連携の視点」も重要である。

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

- ① 主語と述語の関係
- ② 接続の関係
- ③ 独立の関係
- ④ 修飾と被修飾の関係

ぼくは 空が きれいに 晴れるのを 心から 期待した。

3 次の―線部の「空がきれいに晴れるのを」と「期待した」の関係として適切なものを選びなさい。
レベル9

【出典】 復習シート
平成28年度2学年・国語
レベル9・言語事項

○ 調査問題

石川くんは小林くんの
ように野球が得意でない。

8 次の文には、分かりにくいところがあります。「小林くんが、野球が得意である」という意味になるように、
ひらがな一文字を書き加えなさい。
書き加える場所にはくの校正記号を入れなさい。

○ 調査問題の趣旨・内容

「文を読み、わかりにくい部分を推敲する」問題

【問題内容】 適切な助詞を加え、文を推敲する。

【作成の趣旨】 この問題は助詞の役割を理解し、正しく推敲できるかをみる問題である。この問題のポイントは、助詞の「は」をどの位置に入れるかであり、読み手が意味のまとまりを把握できるような位置に入れる必要がある。正しい文法の知識が求められる問題である。

○ 誤答分析

解答類型	①正答	2	無解答	その他	その他に含まれる 「頻出の誤答例」
出題のねらい	「…ように」の後に「は」を入れる	「…得意で」の後に「は」を入れる			
文を読み、わかりにくい部分を推敲する。	16.3%	61.6%	11.6%	10.5%	・校正記号だけ正しい位置に解答しているもの等

- 正答率は16.3%で、他の設問よりかなり低い。61.6%もの生徒が「石川君は小林君のように野球が得意ではない」と解答した。
- 上記の誤答では「石川くんも小林くんも野球が不得意である」ことになってしまう。助詞「は」を選択することはできるが、文意を考えて適切な位置に置くことができない生徒が多かった。
- 少数の誤答ではあるが、「得意でわない」という初歩的なもの(③その他誤答中13%)や、「石川くんには小林くんのように」(同11%)、「石川くんはわ小林くんのように」(同9%)など、助詞の選択を誤っているものもあった。助詞の理解もさることながら、主述の関係を正しく理解していない影響がみられる。

○ 指導上のポイント

助詞の役割を理解し、文章を正しく推敲できるようにする指導

読み手に文意を正しく理解してもらうためには、助詞の置き方一つで文意が変わる場合があるため、注意を払わなくてはならない。助詞の役割を正しく理解し、文意を踏まえて適切に使える力をつけさせたい。また、意味のまとまりを考えて、よりわかりやすく推敲できる能力を養いたい。

学習活動例 カードを使用した助詞の学習

【活動1】①～⑦にカードを置いて文を完成させよう。

- (1) 鳥 (①) 餌 (②) 食べる。
- (2) 友達 (③) ボール (④) 遊ぶ。
- (3) 今日はお菓子を食べる (⑤)。
- (4) 京都 (⑥) 大阪 (⑦) 旅行する。

カード(例)

ぞ	と	まで	なあ	は	ので
から	が	な	など	に	の
で	が	まで	の	か	と

・(1) では多くの生徒が「鳥が餌を食べる」と作るだろうが、中には「鳥の餌を食べる」と作る生徒もいるだろう。その場合、誰が(何が)餌を食べるのか分かりづらい。

【活動2】それぞれどのような文ができたか、ペア(グループ)になって発表しよう。

・自分が作った文をペア(グループ)で発表することにより、カード(助詞)の置き方によって①様々な意味の文ができること ②それぞれ文の意味が違うことを確認する。

【活動3】< >の意味にするにはどのカードを置けばよいか、ペア(グループ)で話し合おう。

- (1) <「鳥」が[主語]を表す>
- (2) <「友達」が[相手]、「ボール」が[手段]を表す>
- (3) <[禁止]を表す>
- (4) <「京都」が[起点]、「大阪」が[到達する場所]を表す>



・意味を考えて助詞を選択し、正しい位置に置くことで、読み手にとって意味が分かりやすくなることを、ペア(グループ)で確認し、共有する。

主体的、対話的で深い学びの視点

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

ステップ1

次の文が【 】の意味になるように、読点を一つ入れなさい。

(1) 私は兄と妹にプレゼントを贈った。

【プレゼントを贈られたのは妹だけ】

(2) 私は飴をなめながら買い物をしている

母を待った。

【飴をなめているのは私だけ】

(3) 私は教室から走り去る友達を見た。

【私】は教室にいる

ステップ2

次の文が【 】の意味になるように、ひらがな一文字を書き加えなさい。書き加える場所にはくの校正記号を入れなさい。

(1) 今日は昨日のように川の流がきれいではない。

【昨日は川の流がきれいだった】

(2) 津波の力は建物を飲み込むほどの脅威であった。

【建物以外に飲み込まれたものがある】